



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 10月第 2例会 (2013.10.8) No.3012

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

職業奉仕月間に因んで「四つのテスト」についてお話しします。まず内容を紹介します。「言行はこれに照らしてから 1) 真実かどうか、2) みんなに公平か、3) 好意と友情を深めるか、4) みんなのためになるかどうか」です。

四つのテストは、ハーバート J. テイラー (シカゴロータリークラブ) が破産寸前の会社 (調理器具メーカー) の再建のために、1932年に作成した従業員のための倫理指針です。今の言葉で言えば、テイラー社長は四つのテストを作り、会社のコンプライアンス {現在は、企業の社会的責任 (CSR)} を確立したことになります。その結果、この会社の社会的評価が高まり、再建に成功しました。

1943年、国際ロータリーの職業奉仕プログラムとして「四つのテスト」が採択され、ロータリアンの行動指針となりました。なお、テイラーは1954年に国際ロータリー会長に就任したそうです。

この四つのテストを見て誰しも思うことですが、日本人にはしっくりこないと思います。考え方が根本から違っているからと私は考えています。ご理解をいただくために、本題と全く関係ない世界保健機関 (WHO) に健康の定義を紹介します (『ロータリアンの健康的な生き方』を参照)。それは「健康とは身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、単に病気あるいは虚弱でないことではない」とあります。この定義は、健康についての理想や願望が示されています。特にアングロサクソン系の人たちはこのような表現を好んで使います。その上、日本語訳の稚拙さも加わり、私たちにはしっくりこないものになっています。同じことが四つのテストにも言えます。

定義は極度に単純化されており、相互に矛盾する内容もあります。目標は理想像で実行不可能です。あるアメリカ人弁護士は言うております。「もし私がこのテストを厳密に実行したら私は飢え死にするでしょう。ビジネスに関して言えば、四つのテストは絶対に実行不可能です。」

日本語訳の難しさが加わります。「真実かどうか」は「間違っていないかどうか」。「公平かどうか」は「不公平にならないかどうか」、「好意と友情を深めるか」は「相手の信頼を裏切らないかどうか」、「みんなのためになるか」は「お客さんをはじめとする関係者すべてに良いことか」と訳し

た方がしっくりきます。

私は、ロータリー違反を承知で、四つのテストを理念・社是・社訓に置き換えて超訳しました。

社是・社訓

・正確な情報提供

・公平・公正

・信用・信頼

・顧客第一・社会貢献

ここで私は、四つのテストと社是・社訓の共通性に気が付きました。まず公平かどうかですが、国内のある企業は、四つの公平を掲げています。消費者に対する公平、取引先に対して公平、従業員に対して公平、社会に対して公平です。この企業の社訓は、ロータリー精神そのものです。次に、みんなのためになるかどうかですが、この文言は近江商人の経営理念「三方よし (売り手よし、買い手よし、世間によし)」と類似しており、私は大変驚いています。表現方法は違っても、考えは皆同じなのでしょう。

四つのテストは、発生の経緯からして、あくまでも職業奉仕に限定されるべきものと思います。ロータリアンの日常生活の行動指針とするにはムリな内容です。ましてや公共の場に張り出し、他人に強制するものではありません。

職業奉仕に限定されるとは言え、職業人としての理想の姿を描いたものであることも心にとどめるべきです。四つのテストは1930年代の世界大恐慌の時代、多民族国家であるアメリカで成立したもので、日本的経営風土になじみません。

しかし日本で実践できる「四つのテスト」として、日本における会社の理念・社是・社訓などに置き換えれば理解が深まります。これなら守れそうです。

(3) ビジターの紹介

野沢 慎吾君(新潟東 RC)

(4) ロータリーの友紹介 (井原広報委員)

(5) 表彰

・徳永 昭輝君へ米山功労者第19回メジャードナー
感謝状贈呈

(6) 委員会報告

・岡村健吉親睦委員長より 10/22 月見例会再度の案内

・斎藤庫之丞国際奉仕委員長

先週、アムール川氾濫被災者への義援金をお願い致しました。もう一度、お願い致しますので先週、ご欠席の方等、義援金箱にご寄付をお願い致します。(16,500円の御協力)

(7) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)

徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(柴田 史郎委員長)

岡村 健吉君 高橋 義明君

樋熊 紀雄君

(8) ニコニコボックス紹介

・敦井 栄一君、小林 敬直君 伊勢神宮で10月2日夜、20年ごとに社殿などを一新する式年遷宮で内宮(ないくう)のご神体を新正殿に移す「遷御(せんぎょ)の儀」があり、2人で参列して参りました。1300年余りの歴史を伝え、神話そのものの世界、日本の伝統文化を継承するものです。今回で62回を数えます。皇族代表秋篠宮様、安倍晋三内閣総理大臣を始め3千人が参列をしました。参道の明かりが消され浄闇(じょうあん)の中、正殿を出御したご神体が絹垣(きんがゐ) (白い絹の布)に囲まれ、神宝の太刀や盾を持った神職ら百数十人に前後を守られる様にして進みました。肅とした静寂の中、提灯の明かりにうっすらと照らされたご神体が通り過ぎると人々は頭を垂れ拍手を打ち、祈りをささげました。ご神体は無事九時過ぎに西隣の新正殿に「入御」なされました。洵(まこと)にありがたく、参列に感謝し、ロータリアン皆様にもご利益あれと祈ってまいりました。

・鈴木 滋弥君 伊勢神宮へ行って来ました。熊野、高野山、奈良と廻って大津の三井寺まで4泊5日の旅です。いっぱい事、お願いをして、お詣りも沢山して参りました。いい事あるように！

・長谷川秀彦君 地元で愛されているアルビレックス新潟と先日アシストスポンサー契約を締結しました。土曜日、応援に行き、ホーム6連勝でした。ニコニコです。

・五十嵐幸雄君 林講師を歓迎します。新潟日報メディアシップ内に林さんのコーヒーショップが展覧しております。皆様のご利用をどうぞ。

・相澤信介君 林三枝さん、本日の卓話を楽しみにしています。よろしくお願ひします。

(9) 幹事報告

例会終了後、会長指名委員会を5階「弥彦の間」で開催致します。

(10) 卓話「小児がん」のフォローアップ体制 の構築について

ハートリンク 林三枝 副理事長



コ ラ ム

在籍まもなく30年を数える小木順一郎

「私はやはり R 原理主義者
と呼ばれてしまうのかなあ？」

自分が住んでいる地域社会に役立つ為や良くする為に自分が携わっている職業を自己責任で積極的に改善して、より高度な倫理を求めて地域社会をよくするよう実行努力をしようよ。(職業奉仕こそが社会奉仕の源)

その為に、地域に所在する自分以外の職業に携わる、優れた、そして業界や地域社会に影響があり、時には孤独に陥る同じ境遇の多くの指導者皆さん達を会員に求め、毎週の例会で顔を合わせて、知人(知り合い)になり、そして親睦活動なども加えて、お互いに胸襟を開いて、心許せる、何事も遠慮なく語り合い、教えあう真の友人(友達)関係に発展し、自分の悩みや知らない事柄などを心から語り合い自身の能力や倫理を構築して自己並びに携わる職業の資質向上を図りましょうよ。(会員同士の親睦の重要性と会員増強必要論。)

更に加えて自身が住む地域外の会員とも語り合えるならば、より広域な社会がより良いものとなるでしょう。そして外国にも友人を求めるならば、世界社会平和がより改善されませんか(地域拡大と国際奉仕)。貴方も例会に積極的に出席し、やむを得ず自分のクラブを欠席する場合は他のクラブへメイクアップ出席をして自分の向上のために努力をしましょうよ。(例会出席の義務)まだ他にも触れたいが今回は省きます。最近の RI や地区指導者の唱える内容に口を開くと反論している自分に気づく。教えられ、共感し、そして信じてきた事柄が次々壊れて行くような気持ちを禁じ得ない。これが進化であり私が追いつけないのか?どなたか迷える古羊をお救い下さい。

(11) 本日の出席率 77.53 %

(2週間前メイク後 82.56 %)

10月15日の例会予定

会員スピーチ

「スマートフォンの現状とビジネス活用」
株NTTドコモ新潟支店長 熊高 信治